

# 星屑

No.327  
June '02



写真を貼ってください  
平成14年度熊本県民天文台総会

熊本県民天文台

5月12日 城南町 火の君総合文化センターで

20周年記念

## 天文台総会が開催されました

城南、清和、龍ヶ岳、中島 4つの小惑星への命名を発表！



ほぼ定刻に始まった今年度の総会、20周年の記念とあって、いつになく緊張が漂います。司会は、熊大天文部の井尻さん。初めての体験といながら、落ち着いた態度で堂々たる開会宣言でした。

台長挨拶は、寝不足のため、用意した原稿を読みながら・・・感激でときおり声が詰まります。

続いて、小林寿郎副台長が、小惑星への命名4件を発表。資料を配って、発見の様子や命名理由、エピソードなどを発表。写真撮影のできていた「城南」については記念の額を八幡町長に手渡しました。その場で町長さんの質問に答え、解説する姿に拍手がわいていました。

来賓挨拶では、臨席いただいた城南町長、清和村収入役、龍ヶ岳町長から、それぞれ心のこもった天文台20周年へのお祝いの言葉と小惑星命名へのお礼の言葉をいただき、会場は参加者の大きな拍手に包まれました。



その後、議事にうつりました。

業務報告は例によって電子紙芝居を使い、1年の出来事を画像でみていただき、運営に参加していない会員にも天文台の活動の様子を伝えました。会計報告・会計監査では、会計の管理が適切にかつ正確にできるようになってきたことが報告されました。（会計の小林昌樹さんの努力の成果です）

台長選出では、引き続き艶島が台長に選任され、各役員の委嘱が行われました。

事業計画では、20周年事業を中心に今年の計画が説明され、前日行われた「五嶋みどりリサイタルのチケット抽選会」の様子も報告されて、いよいよ近づいてきた一連の行事について関心が高まっていることが分かります。また、会則の改正やNPO法人化を目指す提案が事務局から出され、特に、NPO法人化をめぐって活発な討論が繰り広げられました。会員の中には、他のNPO団体に参加して居られる方もいらっしゃって、NPOの実態なども教えていただき、認識を新たにする場面もありました。

今後、NPO法人化について具体的な検討を行う作業が理事会に一任されました。会員の皆さんも、NPOとはどんなものか調べるなどして、活発なご意見・ご提案をいただければ助かります。NPO法人化が可能だと判断された時点で臨時総会を開催し、NPO法人の設立を目指す方向で検討を進めます。

20周年の総会を出発点に、次の時代に向かって、いつまでも熊本県民天文台の活発な活動が続けられるよう、しっかりとした基盤がもつともっと拡充されることを期待しています。総会に参加した県民天文台会員の笑顔が、皆さん方にも届き、新しいエネルギーになることを願っています。



平成14年度（2002年度）  
熊本県民天文台総会 会順

平成14年度役員案

1. 開会
2. 台長挨拶
3. 小惑星命名発表
4. 来賓挨拶
5. 議長選出
6. 議事
  - (1) 平成13年度業務報告
  - (2) 平成13年度会計報告及び監査報告
  - (3) 台長選任・役員委嘱
  - (4) 平成14年度業務計画  
(特に、20周年行事について)
  - (5) 平成14年度予算案
  - その他の議案
  - (6) 会則の改正
  - (7) NPO法人化について
7. その他
8. 閉会

小惑星発見・命名事情  
小林 寿郎

名譽台長	八幡 紀雄 宮本 幸男 永井 剛
台長	艶島 敬昭
副台長	小林 寿郎 中島 尚
常任理事	中尾 富作 長谷 勇治 松野 真二 小林 昌樹 弓立 彰宏
理事	甲斐 謙一 立川 正之 西嶋 好美 山口 祥貴 山田 京子 中尾 達也 徳尾 尚史 荒井 賢三 高田 祐一 土山 由紀子 鹿釜 崇裕
監査	元島 威 北川 忠夫

# 熊本県民天文台 2001年度（平成13年度）業務報告

## 活動実績（主な行事）

- 2001.03.23 ロシアの宇宙ステーション「ミール」が大気圏に突入し南太平洋に落下。
- 03 ロータリークラブでの「星空の見える町づくり」卓話行脚がスタート。
- 04.06 運営終了後いろんな話題について討論。日本の行く末、学校教育、子供達の現状、私たちのなすべきこと。酒が入って果てしない議論が続く・・・・
- 04 星屑に「デジカメ天体写真」撮影についての記事掲載
- 04.27 スズメの巣対策実施。天文台は昼間人が居ないのでスズメの繁殖場に絶好
- 05.20 熊本県民天文台総会、倉敷科学センターの三島氏が「ミールの最後を追いかけた50日間」の演題で記念公演。観測態勢とマスコミ取材攻勢の生々しい舞台裏を紹介し大好評。
- 05.23 帯山西小学校PTA4名来台、七夕の宿泊研修（小2）に向けてのイベント研修
- 06.23 城南町の子育てグループ「ミツキーサークル」30数名来台。「電子紙芝居」と星空観望で大喜び。デジカメ天体写真のプリント配布に歓声！
- 06.24 天文台の大掃除、草刈り、樹木伐採。夜には飽田中から「電子紙芝居見学」
- 07.07 「七夕と朗読の夕べ」開催、朗誦ボランティアの「ハイジの会」と連携。電子紙芝居と絵本の朗読で新しい試み。電子紙芝居製作講座も実施
07. スーパーダイノブの夜間営業化で説明会があり、光害防止を申し入れました。
- 07.20 松橋町子供会120名来台。電子紙芝居「喜界島のアムリガー」を3回、「夏の星空」を2回上演。
- 07.21 こばと保育園14名、「電子紙芝居」上演
- 08.05～07 福岡県夜須高原で天文教育普及研究会の全国集会が開催され、県民天文台からは「天文教育の新しい視点」の部で「デジカメで星空」を発表。夜のナイトセッション「いっしょに星空を見ようよ」では、「電子紙芝居」3本を上演して、楽しい天体観察の実演を行い、好評を博しました。
- 08.11 城南町家庭教育学級16名、歴史民俗資料館から学芸員実習生と受講生18名
- 08.12 ベルセウス座流星群極大、悪天候で観測できず、電波観測が大活躍
- 08.15-16 木星食、デジカメを使い「ビデオ」撮影。
- 08.19 スターウォッティング、こと座の星を数える。薄雲のせいか良く見えない。
- 08.24 ポーイスカウト玉名26名来台。「電子紙芝居」「月のクレーター」が好評。
- 08.25 城南町童話発表大会で「電子紙芝居」を披露、「塚原の99塚」と「鰐瀬の湯」
- 08.26 豊野町子供会33名来台。「喜界島のアムリガー」と「鳥の狩人たち」上演
- 09.01 YMCA14名来台。「鳥の狩人たち」上演
- 09.10 城南町役場、照明器具メーカーと連携して、防犯灯の改善実験が始まる。
- 09.16 中尾（と）氏、デジカメで人工衛星「イリジウム」の撮影に挑戦、大成功！
- 10 「五嶋みどり リサイタル」の開催地の候補に内定。20周年行事の企画開始
- 10.09 NHKの伊藤アナウンサーが来台
- 10.14 午前中、豊田小学校のウォークラリーで、約100名が来台。クイズを楽しむ。

10.26	豊田小5年生50名。「月の観察」体験学習、「月のクリーター」上演
10.28	火の君祭り、「氷川きよし」で大にぎわい。「電子紙芝居」上演。
10.30	防犯灯実験、M社製品ではなかなか成果がせず、11/05に再試験することに。
11.06	小惑星の掩蔽観測で「掩蔽せず」。「T氏が観測すると掩蔽しない」との噂。
11.17	豊田小から、「月の観察」についての「お礼の手紙」が届く。「素直な反応」がぎっしり詰まつていて大変楽しい内容でした。
11.18-19	「しし座流星群」がアッシャー博士の予報を超えて「大出現」日本では歴史上初めての「大流星雨」が夜半から明け方まで続きました。感動!!! NHKから取材班が来台、天文台で撮影した映像がニュースで放映されました。
11.24	天文教育普及研究会、九州支部集会が長崎大学で開催。今年も発表しました。
12.02	防犯灯のテスト、M社1機種、I社2機種。I電気製品の採用を推奨することに
12.16	天文台の大掃除。壁面もキレイになった。学生さん向けに樹木剪定教室。
12.31	天文台のアンプやスピーカーを一部更新。グッとグレードアップしました。
01.03	2002年の新年会
01.06	スタートウォッチング 星空継続観察 すばるの星を数える
01.14	鹿児島天文協会の新年会。「デジカメで星空」、「電子紙芝居」、「星空の見える町づくり」について講演。
01.24	土星食。ビデオ撮影。
02.02-03	芦北町の県立青少年自然の家で「九州環境ボランティア会議」。天文台参加
02.04	GSW連絡会議、つくば市で開催。1996年以来の観測が一段落。HII-A打上げ。
02.09	杉上小5年生とPTA、約40名来台。「電子紙芝居」と冬の星空観望。
02.13	「上方光束ゼロ」の防犯灯が城南町に初設置（杉上小通学路）
02.23	松橋町、当尾小80名と大人30名。電子紙芝居「鳥の狩人たち」「月の地形」「月の誕生」、「オリオン座の動き」など、たくさん質問がでてぎわう。
03.08	豊田小学校観望会、30名。池谷-チャン彗星に歓声!
03.16	熊西新聞社から「ホームページについて」取材班が来台。

2001年度は、宇宙ステーション「ミール」の大気圏への再突入による廃棄という大事件の余韻の中で始まりました。そして、予想を超える「しし座流星群」の大出現（流星雨）や池谷-チャン彗星の発見など、豊富な話題が天文界を賑わせました。一方、熊本県民天文台では、「星空の見えるまちづくり」への取り組みが、地域の団体や行政機関と連携して進み始め、防犯灯の改善実験を通して「上方光束ゼロ」の防犯灯の採用という成果を生みました。体験学習への取り組みも進み、天文台開設20周年記念事業も、火の君総合文化センターや地域のボランティアとの連携で大きな動きになっています。

### 1. 地域との連携

着実な日常活動を通して、地域との連携が一層進展しています。「星空の見える町づくり」への取り組み、城南町子供フェスティバルへの参加、豊田小学校をはじめとする体験学習の試みなど、地域との連携は深まっています。天文台開設20周年に向かう2001年度は、年度計画通り、更にこの動きが加速しました。

## 2. デジカメで星空

天体観望・天体観測の新しい楽しみ方として提唱した「デジカメで星空」。デジタルカメラを使って手軽に天体写真を楽しむ動きが広がってきました。天文台会員の撮影による画像で解説する機会も増えています。得られた画像を使ってパソコンでの画像処理や天文学の学習に役立てるプログラム作りを推進しています。

## 3. 星空の見える町づくり

城南町役場、宇土ロータリークラブ、ふるさとネット、IDAと連携した活動の成果が出ています。城南町では2001年度末には、170余基の「上方光束ゼロ」防犯灯が設置される予定です。

このような住民サイドからの取り組みは全国でも初めてのこと、メーカーからの取材などもあり、城南町を基点に全国に動きが広がる可能性を秘めています。

夜空への光の害をなくす活動が単に天文愛好家として必要だということに留まらず、地域住民と協力して、交通事故の増加などをもたらすグレア（まぶしい明かり）の氾濫を防ぎ、住み良い地域を作るということや、光と共に放出され地球を温暖化させている無駄なエネルギーを抑制するために、市民レベルで問われていることとの認識が大切です。

「星空の見える町づくり」では、「星空が見える」ということが、人や生き物が暮らすための快適な環境が保たれている、パロメーターの役割を果たしていることに着目し、環境の危機を改善する具体的な行動のひとつとして、「星空の見える町づくり」を提唱し推進しています。

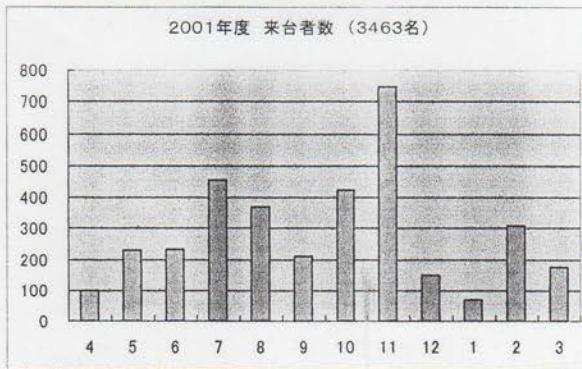
## 4. 20周年記念事業

「五嶋みどり」リサイタル」を核に、7月19日から28日まで「スターウィーク城南」として位置づけ、講演会や子どもフェスティバル、夏祭りなど多彩な用紙を繰り広げます。

火の鳥総合文化センターの運営ボランティアとも連携して、地域と密着した楽しいイベントを目指しています。国立天文台やKAGAYA氏のご協力も得られ幅広い内容です。天文台ホームページで確認してください。アドレスは <http://astro.magma.ad.jp/> です。

## 5. 来台者数の推移

2001年度 来台者数 3463名



7, 8月は、夏休み

11月は、しし座流星群

2月は、体験学習の団体  
で、にぎわいました。

## 平成13年度 熊本県民天文台会計報告

(単位:円)

	収入	支出	残額	備考
金額(円)	2,404,372	460,083	1,944,289	収支残額を次年度に繰越

収入の部	予算額	決算額	増減	備考
1 繰 越 金	1,888,543	1,888,543	0	
2 会 費	660,000	483,000	-177,000	
3 寄 付 金	30,000	32,500	2,500	寄付・募金箱等
4 そ の 他	1,000	329	-671	預金利子
合 計	2,579,543	2,404,372	-175,171	

支出の部	予算額	決算額	増減	備考
1 会 議 費	60,000	1,400	-58,600	総会会場借り上げ
2 事 業 費	350,000	273,384	-76,616	
3 会誌費	250,000	209,026	-40,974	星屑印刷、郵送、写真代等
4 その他の	100,000	64,358	-35,642	総会講師謝礼・旅費等
5 消耗品費	50,000	14,851	-35,149	事務用品代、合鍵代
6 光熱水費	50,000	37,397	-12,603	電気、水道、LPGガス
7 燃料費	5,000	0	-5,000	
8 役務費	150,000	92,435	-57,565	
9 通信連絡費	140,000	92,435	-47,565	電話代、インターネット接続料
10 その他の	10,000	0	-10,000	
11 備品購入費	150,000	0	-150,000	
12 修繕費	300,000	14,616	-285,384	屋根駆動用ワイヤー代
13 原材料費	50,000	0	-50,000	
14 負担金	10,000	10,000	0	日本天文学会会費
15 雜費	20,000	16,000	-4,000	火災保険料、香典等
16 予備費	1,384,543	0	-1,384,543	
合 計	2,579,543	460,083	-2,119,460	

上記のとおり決算報告します。

平成14年4月28日

台長 艶島敬昭  
 会計 小林昌樹



上記のとおり相違ないことを認めます。

平成14年5月10日

会計監査 元島 威



平成14年度熊本県民天文台事業計画

月	Talk About	主な天文現象	天文台行事
4	13	池谷・張彗星	
5	18	惑星大集合	12 総会
6	8	11 部分日食	
7	13		20周年記念行事 6 柳家小ゑん公演 13 渡部潤一氏講演会 20 五嶋みどり演奏会
8	10	13 ペルセウス座流星群	10 観測会
9	14		
10	12		5 仲秋の名月・観月会
11	9	19 しし座群極大	
12	14	4 オーストラリアで日食 14 ふたご群極大	14 流星観測会 21 大掃除
1	11		3 新年会
2	8		
3	8		総会準備

・今年は天文台創立20周年記念行事を計画しています。落語の口演、渡部潤一氏の講演会、さらに世界の五嶋みどりリサイタルと目白押しです。さらに、記念CD-ROMの制作も始まっています。

・天文台をNPO法人化する取り組みを始めます。

・メーリングリスト・ホームページを活発に活用するように工夫します。

※ Talk About は天文台の運営を決める会議です。毎月第二土曜日の午後8時から開かれます。いろいろな情報交換もおこなわれます。参加自由なので、是非参加してみて下さい。

## 星の停車場(18) ケンタウルス座

土山由紀子

菜種梅雨にメイストームに走り梅雨、そして入梅。天気が悪い春ですが、6月になると梅雨の中休みに抜けるような紺碧の空が広がってきます。そんな日こそ初夏の星座を観察するチャンス。あとめ座の南あたりの低い空を見てみましょう。ひとかたまりの比較的明るい星々に気がつくと思います。これらが半人半馬のケンタウルスを象る星々です。南天への憧憬の象徴α星とβ星が見えないため思わず縁遠い星座のように感じてしまいがちですが、実は、熊本市からはケンタウルス座の大部分を見ることができます。

ケンタウルス座はトレミー48星座の一つでもある古い星座ですが、ホメロスの時代は人間の姿とされており、前500年頃の抒情詩人ピンダルによって初めて半人半馬として描かれたようです。ケンタウルス族の住処とされるテッサリアの人々が乗馬に長けていたことから馬人伝説が生まれたと言われますが、ケンタウルス族の起源にはいくつかの説が知られています。

一つは、大神ゼウスが妻ヘラに恋慕したラピタイの王イクシオンからヘラを守るために、雲でヘラとそっくりなネフェレという女性を造り、イクシオンとネフェレからケンタウルス族が生まれたというもの。

別の説では、ゼウスの父クロノスと海の妖精フィリラの間に生まれたのがケンタウルス族というもので、賢人ケイロンのみがこの二人の子であるとする説もあります。クロノスは、フィリラとの密会を妻のレアに気付かれぬよう馬に変身していたため、クロノスとフィリラの子孫は半人半馬になったのだそうです。

ところで、天球の上にはさそり座を挟んで東と西に二人のケンタウルスが向かい合って描かれていますね。そう、弓矢をつがえてさそり座の心臓を狙ういて座と、槍でおおかみ座を突くケンタウルス座。この二人のケンタウルスは、古来名前も神話も混同されることが多かったようです。

一般的な神話では、いて座は、名医アスクレ庇オスらを育てた賢人ケイロンで、ヘラクレスがケンタウルス族と闘った際の流れ矢で命を落としたとされています。一方ケンタウルス座は、酒の神ディオニュソスの養父シレノスの子フォーロスで、ヘラクレスとは親しい友人。ある日二人が酒を酌み交わしてると、酒の匂いをかぎつけてやってきた他のケンタウルス族とヘラクレスの間で闘いとなり、フォーロスは仲間のケンタウルスに刺さった矢を引き抜こうとして、矢尻に塗られたヒドラの毒にあたって死んだとされます。どちらも善良なケンタウルス族で、死ぬ際ヘラクレスが関与しているなど、よく似た神話ですね。エラトステネスはケンタウルス座をケイロンであると主張していました。

ケイロンはフィリラ(Philyra)の息子とされますが、豎琴(Phillyra)の息子という別説も残っています。こちらの神話によると、彼は豎琴から受け継いだ音楽の才を持ち、アポロとアルテミスに愛され、その教えで植物学と音楽と天文学と占いと医学に熟練し、ギリシアの伝説上最も注目される英雄たちの教師となつたということです。

ケンタウルス座は、アラビアではあおかみ座の星と共に“葡萄の木”とか“折れた椰子の枝”と見られており、中世キリスト教天文学では、ノアの象徴あるいはアブラハムとイサクの姿などとして描かれました。



さて、個々の星を見てみましょう。

全天3番目の輝星、-0.2等の $\alpha$ 星は、太陽に最も近い3重星系として有名で、単にアルファ・ケンタウリと呼ばれることが多いようです。

“ケンタウルスの足”という意味のリギル・ケンタウルス又はリゲル・ケントという固有名が知られていますが、近世になってつけられた名前と考えられています。“リギル”はオリオン座のリゲルと同じ語源。別名トリマンは“葡萄のつるの射手”という意味で、ケンタウルス族が葡萄のつるを巻いた弓を持っていたという伝説が由来とされます。

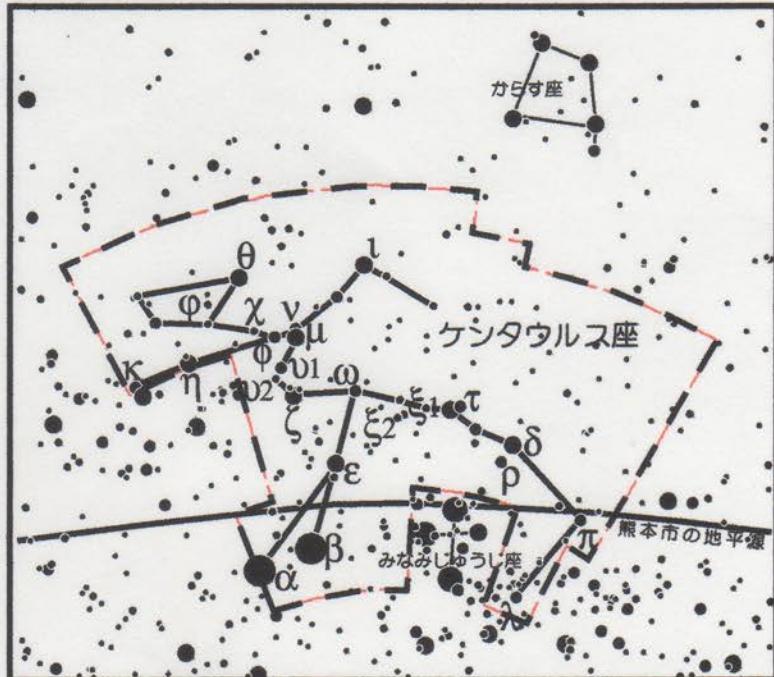
$\beta$ 星(0.6等)もベータ・ケンタウリと呼ばれることが多いようですが、他にアラビア語のハダル(大地)、ワズン(重さ)という固有名が知られています。これらはもともと $\alpha$ ・ $\beta$ 両星の呼び名で地平線に近い輝星に与えられた名前と考えられ、ほ座 $\alpha$ 、はと座 $\beta$ 、あおいぬ座 $\delta$ にも同じ起源の名前がついています。

アゲナという名を見かけることもあります。これは米国の天文学者バリットの書物に初めて見られるもので、gena(膝)と $\alpha$ を合成した名前と説明されたこともあったそうですが、これは誤りで、現在は意味も起源も不明と見られています。

$\alpha$ と $\beta$ を結んで伸ばすと南十字星にたどりつき、さらにそこから天の南極を知ることができるため、2星は“南の指極星”(Southern Pointers)として知られます。この2星は世界各地で対の星と見られ、アフリカのブツシュマンには「ライオンだった二人の男」、オーストラリアの先住民には「二人の兄弟」と呼ばれ、日本の八重山群島では農耕の季節を知る目印としてパイカブシ(南の星)として知られていました。

このほか $\theta$ 星(2.1等)にメンケントという名を与えている書物もありますが、一般的に認められた固有名ではなさそうです。

最後に、ケンタウルス座で忘れてならないのは“ $\omega$ 星団”という俗名で親しまれる球状星団NGC5139でしょう。バイエルは4等の恒星と記録し、ハレーは1677年に星雲と記録。ウィリアム・ハーシェルの息子ジョン・ハーシェルによって初めて「全天最大の贅沢な堂々とした球状星団」と認められた経緯を持ちます。いて座のオメガ星雲(馬蹄形星雲)と混同されやすいので注意しましょう。熊本市での南中高度は10度くらいです。



# オーロラ紀行

カナダ イエローナイフ  
上塙達朗

この3月、念願かなって、オーロラを見に行くことができました。



## 今回使用した機材

- PENTAX LX ボディ  
レンズ SIGMA 24mm F2.8
- PENTAX Z-50P ボディ  
レンズ PENTAX 35-80mm F4-5.6
- フィルム Kodak GT 800  
Konica センチュリア 800
- DVカメラ SONY DCR-TRV900

今回の唯一のトラブルは、カナダの国内線で荷物を機内に持ち込ませてもらえないかったです。このリュックは前回のトルコ日食観測時にも使ったもので、一度も機内持ち込みが認められなかったことはありませんでした。ところが、バンクーバーでセキュリティーチェックに引っかりました。まず三脚を出せと言われ、次は大きすぎるので中のものを出してリュックをつぶせと言われました。カメラ用で頑丈なリュックだからつぶせないと言おうとしても言葉が通じません。それで仕方なく中のものを出し、つぶれないことを証明しました。すると、預け入れにしろと言います。貴重品で

こわれものだからだめだと言っても通じません。仕方なく添乗員さんと荷物の預け入れに向かいました。するとそこの係りは、「もう締め切ったのでだめだ。」と涼しい顔で言います。それで別のところへ行くように言われ、そこで預けようとすると今度は搭乗券がないことに気づきました。どうやらさっきのどさくさで妻に持たせてしまったようです。仕方なく、添乗員さんの名前で預けてもらいました。やっとのことでお発ぎりぎりに搭乗を済ませたものの、本当にその飛行機に積まれたかどうか分からぬとのことです。下手をすると別の便で遅れてくることも考えられます。最悪の場合は行方不明です。そうすると今夜の観測には間に合いません。同行した中島氏が「三脚やDVテープは貸してあげるから。」と言って下さいましたが、その晩イエローナイフに着くまで心配でした。コンベヤに載った自分の荷物が目に入ったときは本当に胸をなで下ろしたものです。



銀塩写真については、もう少し露出時間を長くすればよかったです。今回は手袋をしての撮影だったため、ケーブルリリーズのストッパーは操作しにくく、押しっぱなしで数十秒我慢する方法をとりました。それで、ついで早めに手を離してしまい、あまり長い露出をしなかったのが敗因です。次回（もう一度行くことができる

のか?)は、もっと長時間露出したいと思います。それと、デジカメも持っていきたいものです。前号にもあったようにデジカメの威力はあなどれません。



バッテリー関係は銀塩カメラもDVも全く問題はありませんでした。逆にあまりにもバッテリーを心配するあまり、追加充電をするためにバッテリーをはずしたので、DVの露出の設定を長時間露出にしていたのがキャンセルされ、普通の設定に戻っているのに気づかず録画てしまいました。それで殆どオーロラが写らなかったという失敗をしてしまいました。

寒さで銀塩写真のフィルムが切れることがあると聞いていましたから、モータードライブのZ-50Pはあてにしていませんでした。しかし、これも全くの杞憂でした。一時はZ-50Pは持っていくのをよそかと思っていましたが、持つていて正解でした。というのもあの寒さの中でのフィルム交換は至難の業で、カメラごと交換した方が得策だったからです。スペアカメラがあるならば使った方が楽です。電池がなければ役に立たない電子制御のZ-50Pでしたが、全く問題なく作動しました。

金属部分を素手で触ると凍りつくとか、数十秒で凍傷になるとかいう話もありましたが、そんなことはありませんでした。眼鏡も皮膚に凍りつく心配をしてハードコンタクトレンズも持っていました。しか

しそれも使いませんでした。ただし、今回は現地としては比較的、暖かい日だったので幸いした可能性があります。もっと厳しい寒さの日はどうなっていたか分かりません。

体の方も現地でレンタルした本格的な防寒着のおかげでとても快適に観測できました。それに加えて、キャビンで休憩をとることができたことも観測を楽にしてくれました。お茶、コーヒーなどは飲み放題、夜食もパンやカリブーのシチューなどが日替わりで出ました。おかげで自由です。



今回はオーロラがメインで、昼間の観光は眼中になかったのですが、こんな寒さの中でも結構快適に生活できるものだと分かりました。視界に入るものは空と氷と雪。ほとんど白と青の世界です。防寒着を着て、雪や氷に足を滑らせながら歩いたり、犬ぞりに乗ったりしたこともいい経験でした。



## 私の天文に関する（おそらくは）原体験

熊大天文部部長 弓立彰宏

はじめまして。いつもお世話になっている熊大天文部の21代目部長、弓立（ゆだて）といいます。

春なのにというか春だからなのでしょうか、最近さえない天気が続きますね。それでもひさびさに晴れた日、新入生も誘って何人かで立田山に登りました。街の灯かりがけっこう強かったものの、近ごろ惑星直列と注目されている木星、土星、火星、金星の並びもきれいに見えました。

そのとき私は冬のあの鋭い輝きを失って西の空低く、ゴルフ場の照明にすっかり薄れていくオリオンを見ながら、あの夜のことを思い出していました。

—そう、あれはわしが12の(中1の)冬のことじゃった—

そのころ理科の授業で天文をやっていました。それで一晩の星の動きを観測できる絶好のチャンスというわけか冬休みの宿題で天体観測が出ました。

「一晩かけて一時間ごとの北の空(北斗七星とカシオペヤ座)と南の空(オリオン座)の星座の方位、高度、傾きを観測しなさい。」

当時は理科好きでその中でもとくに天文に惹かれていた私は心ときめかせました。しかし、宿題それ自体がはじめから徹夜を強制している(後回しにして休み明け前日までためこんだからではなく)というのはあまりに理不尽です。当然教室には「ええーー」の嵐が起きました。私もみんなにあわせて表面では「ええーー」といっていました。

具体的な方法は次の通りです。

準備：大きな紙(新聞、広告など)に十字と東西南北を書き入れる。分度器の中心に糸をつけ、糸の反対の先におもりをつける。教科書等の写真を参考にして透明な板(下敷きやカセットのケースなど)にそれぞれの星座の星の並びを写す。

測定方法(方位と高度は、中心のひとつの星について観測しなさい。)

方位：大きな紙を方位が正しくなるように地面に固定する。その紙の真ん中に立って星の方位を見る。

高度：用意した分度器の直線のふちが星に向かってまっすぐになるように見上げ、垂直にぶら下がった糸が示す角度をよむ。

傾き：透明な板を星座に重ね記録用紙にそのまま書き写す。

注意：他人のを写すのはいけない。先生の目はごまかせません。

というわけで、正月早々1月2日の夜から祖父母のアパートの屋上でそれは決行されることとなったのです。

はじめの1,2回は星座を写すのに手間取ったものの、3回目ぐらいからは慣れてきて手際よくできるようになっていました。方位と高度のます目だけしか描かれていなかったところに、少しずつ星座を記入していくのは楽しい作業で、また一時間ごとに観測することで星座の動きが徐々にわかつてきて面白かったです。（1時間に15度ですね。）

しかし本当にきついのは23時を過ぎて、それまで部屋でギャーギャー騒いでいた従兄弟たちが寝静まってからでした。空は時間が遅くなるにつれじやまになっていた街の灯かりが消えていって黒さを増し、星がはっきりときれいに見えだして観測もしやすくなったのですが、なにせ眠い。

今となっては徹夜など日常の事に思えます。しかし、当時の私にとって24時以降は未知の領域でした。祖父が付き合って起きていてくれたのですが、測定の合間にどうしても寝てしまいます。測定の間隔が5分、10分とずれていきました。睡魔と寒さに耐え最後はもう半分寝ながらオリオンの星をなぞっていたような気がします。そして、午前6時になってこれ以上星は見えないという事でやっと長い夜が終わったのでした。そのあと昼までたっぷり寝たのは言うまでもありません。

上手くまとめられてないですが、この体験のおかげで今の私があるのではないでしょうか？今後ともよろしくお願ひします。

－2年後－

妹が中1の時も同じ先生の天体観測の宿題が出ました。

「北の空または南の空の星座の方位、高度、傾きを7時から10時まで4回観測しなさい。」

なにそれっ！！（これがオチですね。）

ご静聴ありがとうございました。

## ちょっとぜいたくな天体写真ページ

3月20日  
は、黄砂があ  
ったのです  
が、それほど  
ひどくはな  
く、このとき  
とばかりに  
池谷一チャ  
ン彗星を撮  
つておこう  
と天文台に  
きました。

実は、黄砂  
がひどいと  
きは、ミルク  
ロードあた  
りの高いと  
ころから双  
眼鏡で眺め  
て楽しむの  
もいいかな  
とギリギリ  
まで決めか  
ねていたの  
ですが、天文  
台にきてし  
まいました。



写真を貼って下さい。

写真:「土星と月の接近」

撮影 高田祐一 熊本県民天文台 41cm 直焦点。

3月20日 19時30分頃。

→ 薄明の中  
彗星の撮影  
が終わって  
月を眺める  
とあれ土星  
が近づいて  
いるではな  
いか。そうい  
えば、東日本  
では土星食  
がおきると  
いっていた  
な、あれ今日  
だったけ？  
と、彗星撮影  
ついでに土  
星と月の接  
近を撮った  
わけです。

こうやつ  
て並べて撮  
ると見かけ  
の大きさの  
比較ができ  
ていいです  
ね。

細長いと  
ころにかい  
てすみませ  
ん。

88  
後

スペースが空いたのでもう少し書きます。  
高田が心血そぞぎ込んでつくっている、熊本県  
県民天文台ホームページの「今月の星空」をご  
覧になりましたあ？  
5月分では、西の空の惑星大集合の模様がア  
ニメーションでご覧になれます。

## ちょっとぜいたくな天体写真ページ

3月20日  
は、黄砂があ  
ったのです  
が、それほど  
ひどくはな  
く、このとき  
とばかりに  
池谷一チャ  
ン彗星を撮  
っておこう  
と天文台に  
きました。

実は、黄砂  
がひどいと  
きは、ミルク  
ロードあたり  
の高いところ  
から双眼鏡で眺め  
て楽しむのもいいかな  
とギリギリまで決めかねていたの  
ですが、天文台にきてしまいました。



写真:「土星と月の接近」

撮影 高田祐一 熊本県民天文台 41cm 直焦点。

3月20日 19時30分頃。

→ 薄明の中  
彗星の撮影  
が終わって  
月を眺める  
とあれ土星  
が近づいて  
いるではな  
いか。そうい  
えば、東日本  
では土星食  
がおきると  
いっていた  
な、あれ今日  
だったけ？  
と、彗星撮影  
ついでに土  
星と月の接  
近を撮った  
わけです。

こうやつ  
て並べて撮  
ると見かけ  
の大きさの  
比較ができ  
ていいです  
ね。

細長いと  
ころにかい  
てすみませ  
ん。

88  
後

スペースが空いたのでもう少し書きます。  
高田が心血そぞり込んでつくっている、熊本県  
県民天文台ホームページの「今月の星空」をご  
覧になりましたあ？  
5月分では、西の空の惑星大集合の模様がア  
ニメーションでご覧になれます。

## 4月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 7日/12日=58.3% 一般来台者数 0名 会員来台 32名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
5日 (金)	晴/曇	なし	立川、松本	夕方やや雲がひろがってきたが、天文台に着くとかなり覆われてしまった。もう少しは持つと思いきたのですが、きのうくれば良かった！最近あいかわらず黄砂すごいこと、しばらく続くのでしょうか？(松本) 艶島
7日 (日)	快晴	なし	艶島、松本、高田	池谷-Zhang が低くて見えず。土星、金星 (高田) 富永、山田
12日 (金)	晴	0名	小林J、松本、長谷	J氏、土山さんよりペンタックスのファインダーを手に入れる(長谷) 土山
13日 (土)	晴	なし	中島、高田、中尾の、鹿釜	土星、木星、M42、火星 トークアバウト。総会についてなど、いろいろ決まる。お客様はなし。晴れなのに残念(鹿釜) 艶島、小林J、小林M、松本、西嶋、徳尾、長谷、富永 「パンゲアの娘クニエ」③巻を持ってきました(高田)
14日 (日)	曇	なし	艶島	きのう高田氏が「明日DVDを持参して映写会をする」と言っていたので曇空にもかかわらず富永氏が来台。高田氏にTelしたら「曇っているから行きません」だって！しばらくおしゃべりしてから帰りました。(Tsu) 富永
21日 (日)	くもり	ナシ	艶島、小林J	夕方、青空が少し広がりそうだった。19時にはドンぐもり。今週もだめかと思っているとJ氏が…。C11の運搬をして、もう帰ろうと思ったら「もうひとしごと」ともちかけられた。無線LANとJ氏のPCのトラブルにはまりこんで………長ーい作業をしょいこんでしまいました。(発泡酒、もらって飲むんじゃなかつた！)(Tsu)
26日 (金)	晴	0名	長谷、西嶋、山田	月、各種惑星 本日、すきっとした晴れではないが、久しぶりのような気がします。最近、雨が多いような気が…！(松本) 艶島

## ■ B 5 のたわごと ■

先日12日、天文台総会の日は、五月に入って初めての晴でした。日頃の行いの悪さなのか、それまでの日は曇りか雨。でも何故か総会当日は行いの良い人が集まつたおかげで、夕方西空には、惑星大集合が見られました。これを逃すと、この規模の現象は、2060年にならないと見えないんですよ。見ていない方は、惑星大集合の撮影に成功?しましたので、ホームページを見て下さい。多分星屑が届くまでには間に合うかと・・・。

☆H14年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

## ★ 6月の天文現象＆行事★

- 3日（月） 下弦（09:05）
- 4日（火） 水星（-4.0等）と木星（-1.9等）が最接近（07:34）
- 6日（木） 芒種（ばうしゅ…芒（のぎ）のある穀類の種子を蒔く大切な時期）  
冥王星が地球に最接近（29.50636天文単位 441400万km）
- 8日（土） 冥王星がへびつかい座で衝（13.8等 視直径00.1"4）  
トーケアバウト（20:00～）
- 9日（日） 土星が合（0.0等 視直径16.4" 環視直径37.2"）
- 11日（火） 部分日食（06:42～） 新月（11:09） 入梅  
くじら座Uが極大（周期235日 6.8～13.4等）
- 15日（土） りょうけん座Rが極大（周期329日 6.5～12.9等）
- 16日（日） こぎつね座Rが極大（周期137日 7.0～14.3等）
- 18日（火） 上弦（09:29）
- 21日（金） 夏至（げし…北半球では最も昼が長く、暑気も厳しくなる）  
水星が西方最大離角（22°43.8' 0.5等 視直径08.1"）
- 25日（火） 満月（06:42） 半影月食 沖縄方面のみ見られます
- 30日（日） はくちょう座Uが極大（周期463日 5.9～12.1等）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年6月号 通巻327号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>